

国際ロータリー第2600地区 上田六文銭ロータリークラブ

2019-20年度
国際ロータリー会長
マーク・ダニエル・マローニー氏
第2600地区ガバナー 古川 静男

- 会長 宮澤 広一 ●幹事 北村 久文
- 会報委員長 西澤 文登 ●副委員長 松澤 一志
- 委員 宮原 宏一 合原 亮一



ロータリーは
世界をつなぐ
Rotary Connects The World

【事務局】
〒386-0025 長野県上田市天神4-24-1
上田東急REIホテル 3F
TEL.0268-25-6000 FAX.0268-25-6002
<http://www6.ueda.ne.jp/~ueda6rc/>
【例会日】毎週火曜日12:30~13:30
【例会場】上田東急REIホテル 2F
【創 立】1997年2月18日



ガバナー年頭挨拶

東信第二グループ、ロータリアンの皆様、明けましておめでとうございます。

令和の新しい年も徐々に馴染み始めてきていますが、令和という言葉は、世の中を平和にさせるという穏やかな印象があふれており、世界が調和され、平和が永遠に達成されるというイメージが込められている、とされています。今年は東京オリンピック及びパラリンピックが開催され、スポーツを通じて平和の祭典が実施されることとなります。

日本のロータリーも 1920 年 10 月に第 1 号となる東京ロータリークラブが創立されて以来 100 年目を迎えることとなりました。100 年を節目としてロータリーの哲学を実践しながら時代のニーズに適した奉仕活動を実践していきたいものです。

昨年は、台風 19 号による被害に対してロータリークラブも各地域で奉仕活動を行って頂きましたが、東信第二グループではいち早く松澤ガバナー補佐の音頭によりグループとして義援金を届けて頂くなど地域に密着した活動を行って頂きました。また今年はロータリーデーとしてグループ全体で上田駅前での奉仕活動を計画されているとのことで、グループの結束力の良さを感じるところです。広い長野県が一つとなって行動することは、時間的な面や費用的な面で困難な部分がありますので、地域ごと、グループごとに活動することがより重要になってくるとおられます。



国際ロータリー第 2600 地区
ガバナー
古川 静男 様

これからもガバナー補佐を中心としてグループの活動を活発にして頂ければと思います。

今年度の RI のテーマは「ロータリーは世界をつなぐ」であり、地区の標語は「ロータリーの魅力を広げよう」です。引き続き、我々ロータリアン自身がロータリーの魅力を感じてそれを発信していく活動をお願い致します。

現在、国際ロータリー及びロータリー財団が最重点事業として取り組んでいるポリオ根絶に関してですが、昨年 12 月 11 日現在、野生株により 116 人の発症が確認されています。この他にも予防接種のための生ワクチンによる発症が世界で 227 人確認されており、ポリオが世界から根絶するまで、まだまだロータリーの力が必要です。引き続き、皆様のご理解とご協力をお願い致します。

次年度は、東信第二グループから成田ガバナーが誕生いたします。是非グループ全体で応援して頂き、第 2600 地区の舵取りをして頂ければと思います。

皆さまにとりましてロータリー活動がそれぞれの方の人生に有意義な 1 ページを刻むことが出来ます様ご祈念申し上げ、新年の挨拶と致します。



合同新年会ガバナー補佐挨拶



東信第二グループ
ガバナー補佐 松澤 一志様

新年、おめでとうございます。

元号が令和に改元されて初めての 6 クラブ合同新春夜間例会でございます。本日は、ご来賓の上田市長土屋陽一様、東御市長花岡利夫様、パストガバナー島田甲子雄様、ガバナーエレクト成田守夫様のご臨席を賜り、錦上に花を



クラブテーマ「ロータリアンであることに魅力を感じよう!!そして、更に魅力ある六文銭ロータリークラブへ」



添えていただきましたこと誠にありがとうございます。

今年は、麗しき平和を持つ日本であってほしいとの願いを込めて選定されました「令和」の時代に相応しい、いくつかの慶祝すべき事柄とめぐり合わせております。

・日本ロータリー100周年！

その一つが、日本にロータリー運動が導入されて100年目に当たることとでございます。1920年（大正9年）10月に我が国最初の東京ロータリークラブが設立されました。「積善の家に余慶あり」、「情けは人の為ならず」、あるいは「右手に論語、左手に算盤」の格言を持つ我が国において、「超我の奉仕」、あるいは「最も良く奉仕する者、最も多く報われる」との標語を持つロータリー運動は、当時の実業家の方々にとって容易に受け入れることのできるものであったと思います。25名のチャーターメンバーで始まったロータリー運動は燎原の火のように瞬く間に日本全国に広がり、今では8万9000人を超える組織となりました。今年、この親睦のエネルギーを次の100年へ向けて、ロータリーの根幹である職業奉仕の実践を通して平和な世界の実現に貢献する記念すべきスタートの年とございます。

・東京オリンピック・パラリンピック

二つ目が、東京オリンピック・パラリンピックの開催される年とございます。オリンピックの精神はスポーツを通して平和でよりよい世界の実現に貢献する事であり、五輪のマークはその象徴であり5大陸の団結を表しております。パラリンピックはさまざまな障害のあるアスリートが創意工夫を凝らして限界に挑み、私たちに多様性の世界を示しております。

オリンピックの精神である「スポーツを通して平和な世界の実現に貢献する」とことと、パラリンピックの「多様性の世界」は、ロータリーの理念と軌を一にするものであります。

此方次の100年へ向けたロータリー運動、彼方4年に一度のスポーツの祭典は、共に平和な世界の実現を志向するものとして令和のこの時代に巡り合わせたのであり、私たちは幸運にもその当事者となり得たのでございます。

・今年度事業の進捗報告

ここで2600地区の活動目標に対する東信第二グループの進捗状況と今後の事業について報告させていただきます。

先ず、昨年台風19号は政府により激甚災害に指定され我々の地域も被害を受けました。この事態に東信第二グループの各クラブでは早期の復旧、復興を願い支援金を募り、ロータリアンの皆様のご協力により60万円の浄財が集まり、これを東信第二グループとして上田市及び東御市に対して均等に贈呈することができました。ご協力、誠にありがとうございました。

会員の増強につきましては、昨年12月31日現在、男

性会員3名の純増でありましたところ、本日までに既に男性会員2名、女性会員1名の入会が確認されております。東信第二グループで10名の増加も夢ではございません。後半の活動に努力していきたいと思っております。

公共イメージ向上の活動につきましては、地区補助金を利用した事業として「上田市及び長野市災害支援」、「地域の歴史を子供たちと学ぶ事業」、「上田市内公園の環境整備事業」、「SOSを発信する子供達の支援事業」がいずれも承認され、既に実施または実施予定となっております。なお、ロータリーデーにつきましては5月16日の土曜日にロータリーアクトの皆様方と協力して上田駅前環境整備事業を実施することになっております。

ロータリー財団の年次寄付につきましては、19名の方から個人寄附を頂き、米山記念奨学会につきましては22名の方から特別寄附を頂いております。貴重な浄財、誠にありがとうございました。

マイロータリーの登録につきましては、地区目標の50%を超えたクラブが一クラブございました。このクラブは5%の登録から一気に78、95%の登録に達しております。他方、近々に89%の登録に到達しようとするクラブが一クラブ控えております。今後は、身近な環境の下でマイロータリーを使用してロータリーの世界を知っていただければと思います。

なお、2月15日（土）には東信第一グループと東信第二グループ共催でIMと会員セミナーをこの会場で開催します。大勢の皆様のご参加により成功裏に収めたいと考えておりますのでご協力をお願い致します。

・規定審議会での改定事項

次に、国際ロータリーの2019年規定審議会における改正事項につきまして、私たちに身近な項目について三つ報告させていただきます。一つ目は「会員身分」について、公職についている方の制約に関する規定が削除されました。二つ目は「職業分類の制限」について、同一職業分類における会員数の制限が削除されました。これらは何れもRI理事会の提案でございます。三つ目が「欠席のメイクアップ」について、例会日の前後14日から同年度内に変更されました。これはアメリカのクラブからの提案でございます。いずれも会員の維持・増加に係わる改正でございます。ロータリーには変えてはならない基本理念とその理念を維持して成長するために、社会の変化に対応して改正せざるを得ないものがあり、これからもロータリーの組織規定は何度も書き換えられていくものと思います。このような状況の中において私たちに求められることは、ロータリアンとしての有り様に思いを致し、対応していくことだろうと思っております。

最後になりましたが、東信第二グループの皆様の益々のご健勝とご繁栄を祈念申し上げますとともに、ガバナー補佐の表敬訪問、事前訪問、ガバナーの公式訪問の折には、



各クラブの皆様、事務局の職員の方から温かく迎えられたことに対しまして厚く御礼を申し上げます。又、本日の新春合同夜間例会を企画して頂きました上田六文銭ロータリークラブの皆様にご挨拶と致します。

000 会長挨拶

新たな気持ちで！

会長 宮澤 広一君



明けましておめでとうございます。本日は、上田市長 土屋陽一様そして東御市長 花岡利夫様をはじめとするご来賓の皆様、そして、ロータリーメンバーの皆様、お忙しい中この東信第二グループの合同新年会にお越しいただき大変ありがとうございます。本年度の新年会のホストをさせていただきます上田六文銭ロータリークラブを代表してまずもって御礼申し上げます。

さて、皆様方にとって昨年はどうな年であったでしょうか？「昨年は嫌なことも多かったしもう忘れてしまった！」という方もいらっしゃると思いますが、その方々は、正しいです。おそらく、何回も忘年会を重ねた効果が現れたということだと思います。ネットで忘年会を調べると、「忘年会とはその年にあった苦勞なことや嫌なことを忘れて新しい年を迎えるために行われる行事」だそうです。何回も忘年会をやったということは、地域経済にも貢献しているので、なおのこといいことかもしれません。

冗談はさておき、昨年は令和の幕開けというおめでたい年であった一方で、台風 19 号による災害など、この地域では過去にない程の大きな災害が発生し、多くの方々が被害にあった年でもありました。台風の災害に関しては、我々ロータリーもメンバーの皆さまから寄付を募り上田市や東御市に寄付をさせていただいたことは記憶に新しいところでもあります。

そして今年は、どんな一年になるのでしょうか？年明け早々、戦争が起きるかもしれない危機状態もあります。2020 東京オリンピックというお祝いムードもあります。当上田地域も聖火リレーが通るといふ嬉しい話もあります。しかし、昨年の台風被害も「傷が癒えた」とは未だに言い難い状態もあります。世界に関わること、そして、地域のこと、様々な事が発生している新年ではありますが、一個人としては、とにかく平和で、景気が良くて、家族も社員も健康で、平穩でありたいと思うのは私だけでなく、ここにいるメンバーの皆様はもちろんほとんどの人々の

願いであろうと思います。そのことを実現するには、何が大切なのか？ やはり世界平和と全ての人々の相互理解を希求するわれわれロータリーの不断の地道な活動も大切なことのひとつだと思います。

まずは年始めの第一歩として、ここに集まる皆様の相互理解が本日の大切な研修です。お酒の力も大いに借りて大いに語り合って十分に相互理解を深めていただければ幸いに思います。

終わりに、今年一年が（今年一年も？ 今年一年こそ？）皆様方にとって、そして、全てのロータリークラブにとって幸多き良い年になることを心から祈念し、そして、子年に因んでメンバー数も鼠算的に増えることを願って、そして、来月行われる IM セミナーにも多くの皆様にご参加いただくことをお願いしまして、新年の挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

000 幹事報告



幹事
北村 久文君

1. RI より
 - 1月ロータリーレート 1\$=110円
 - ・財団室ニュース 1月号
 - ・国際ホノルル大会日本人朝食会のご案内
2. AMUより
 - ・上田市防災講座のお知らせ

恵送

1. 1. 桐生赤城 RC 様・・・会報

000 出席・ニコニコBOX報告

| | ベース | 欠席 | メイク | 出席率 |
|-----|-----|----|-----|--------|
| 本日 | 26 | 1 | 0 | 96.15% |
| 前々回 | 27 | 6 | 2 | 88.46% |

- 松澤一志君 明けましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。
- 宮原宏一君 6クラブ合同新年会、楽しくできますように。
- 柄澤 堯君 あけましておめでとう。友情あふれる1年になるように！
- 水野泰雄君 今日は皆さまようこそ！楽しんでくださいませ。
- 西澤尚夫君 おめでとうございます。本年もよろしくお祈りします。
- 肥田野秀知君 飯島 俊勝君 笠原 一洋君
北村 久文君 小嶋 修一君 宮澤 広一君
中澤 信敏君 西澤 文登君 生川 秀樹君

